




















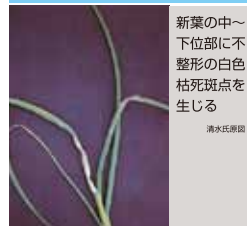






カルシウム欠乏の症状と診断

トマト  <p>作物全体が萎縮する(左: 欠乏区、右: 完全区)</p>		 <p>生長点付近の若い葉の周縁部が褐変、枯死する</p>		 <p>果実の花つき部が黒変する(しり腐れ)</p>		ナス  <p>先端部付近の生育が阻害され、葉脈間が褐変</p>		 <p>果実はしり腐れを起こす</p>		ピーマン  <p>先端部の葉の生育が阻害され、いびつになる</p>		 <p>果実に障害が発生する</p>	
キュウリ  <p>欠乏初期には、若い葉がカールを起こす</p>		 <p>欠乏がすすむと上位葉の葉脈間が黄化し、小型化する</p>		メロン  <p>▲葉脈を残して全面に脱色症状を起こす(アンデス)</p>		 <p>下位葉に残った黄化症状(アムス)</p>		 <p>症状が進むと葉の黄化がひどくなり、枯死する(プリン)</p>		スイカ  <p>先端部付近の葉の生育が阻害される</p>		カボチャ  <p>上位葉に発生。葉脈間が黄化し、奇形になる</p>	
イチゴ  <p>新葉の葉先が褐変する</p>		ダイコン  <p>新葉を中心に生育が阻害され、葉の先端部から褐変枯死する</p>		キャベツ  <p>心葉の生育が阻害され、葉が内側に巻く</p>		ハクサイ  <p>心くされ症状。結球をたてに切ると中心部が褐色に腐敗している</p>		レタス  <p>心葉の葉脈が褐変し、生育が阻害される</p>		シュンギク  <p>心葉やまわりの葉の先端部が褐変し、枯死する</p>			
セルリー  <p>生長点の生育が阻害され、若い葉が枯死する</p>		ネギ  <p>新葉の中～下位部に不整形の白色枯死斑点を生じる</p>		エンドウ  <p>先端部の葉から障害が発生する</p>		リンゴ  <p>果実に症状が出やすい。赤道部より下に小斑点が生じる</p>		ナシ  <p>果実は裂果しやすく、果頂部から亀裂が入る</p>		キク  <p>先端葉の生育が阻害され、葉脈間が黄化して葉縁から枯死する</p>			



だから

畑のカルシウム[®]

*製造特許取得

特長

1. 水に溶けやすく、作物に効率的に吸収されます。
2. 散布後、粒が速やかに崩壊するため、カルシウムの吸収がさらに向上し、品質の向上と病気予防に有効です。
3. カルシウム欠乏症が発生していなくても、施用することで増収します。(右のデータ参照)
4. 土壌pHを変化させません。

「畑のカルシウム」を施用したジャガイモはL～2Lサイズが増え、増収しました。

	マルチなし 無施用	マルチなし 畑のカルシウム施用	マルチあり 無施用	マルチあり 畑のカルシウム施用
2S				
S				
M				
L				
2L				
L+2L (t/10a)	1.2	2.2	1.9	2.7
総収量 (t/10a)	2.6	3.6	3.8	4.5

供給/ JAグループ 製造/ KCCC 片倉コープアグリ株式会社

*4,500株/10aとして計算した。

畑のカルシウム[®]

容量 20kg

分析例 (%)

カルシウム	水溶性カルシウム*	硫黄	水分	pH
28.5	26.3	17.0	0.6	5.1

*水溶性カルシウムは畑のカルシウム1gを水500mlに溶解して分析した。

特長

1

散布後、粒が速やかに崩壊するため、さらに水に溶けやすくなりました。土壌への浸透性が高く、下層土の改良に役立つとともに作物に効率的に吸収されます。

2

弱酸性なので、土壌のpHを変化させることなくカルシウムを補給します。

3

作物のカルシウム欠乏を防ぐとともに、硫黄も同時に補給しますので、作物の生理作用を活性化し、品質の向上と各種生理障害の予防に有効です。

4

粒状(1~4mm)になっていますので、散布しやすくなっています。

効果

野菜

各種野菜に発生するカルシウム欠乏対策として大変有効です。作物を健全に生育させるので、耐病性を増し、鮮度、貯蔵性の向上が期待できます。

果樹

カルシウム欠乏に由来する各種障害の克服と、果実の着色を促進させ熟期を揃えるとともに、糖度を高め品質向上が期待できます。

花き

カルシウム欠乏からくる生理障害を回避し、茎葉を丈夫にし、花もちをよくします。

豆類

根粒菌の増殖を促進し、子実の充実、多収穫が期待できます。

使い方(基準量)

	野菜	果樹	花き	豆類
使用時期	基肥	秋または春	基肥	基肥
使用方法	全面混和	表層または全面混和	表層または全面混和	全面混和
使用量(／10a)	100kg			

※土づくり時または基肥に施用してください。追肥時に使用する場合は側条散布とし灌水と併用すると効果的です。使用量は、土壌条件等に応じて施用してください。

●詳しい使い方については、最寄りのJAにご相談ください。